

虫歯菌は感染する！？

<虫歯菌の母子感染って何の事？>

生まれたばかりの赤ちゃんの口の中には、虫歯菌（ミュータンス菌）がないのです。

もし、この菌がないまま大きくなれたら、虫歯で苦労することも無いのです。ところが、3歳児では30～50%の子供に虫歯ができています。

<じゃあ いつ頃から、どうして虫歯菌が住み着いてしまうのでしょうか？>

それは、いつも身近にいるお母さんからもらってしまう事が多いのです。

赤ちゃんが使うスプーンをうっかりなめていませんか。

お母さんのお箸と一緒に食べさせていませんか？

こんな所からお母さんの虫歯菌が赤ちゃんの口の中に移っていきます。

虫歯は遺伝するのではなく虫歯菌に感染するのです。

<予防はどうしたら出来るでしょう？>

何でもなめてしまう赤ちゃんですから、すべての感染を防ぐことは難しいでしょう。

そこで、「感染源である周りの人達の口の中の虫歯菌をなるべく少なくする事」で対処していく方法があります。

- ① 歯の治療をする。
- ② 磨きを徹底する。
- ③ 定期健診でクリーニング（歯石取り）をする。

これらのことで口腔内の虫歯菌を減らしましょう。